

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの理論と方法 I (4 単位)		3. 科目番号	SSMP2157 SNMP3357 SCMP2157 SBMP2157 SPMP2157 SSMP3157 PSMP2457
2. 授業担当教員	北爪 克洋			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>本科目は、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（ソーシャルワークの展開過程）と、様々な実践モデル及びアプローチについての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術を学習する。また、ケアマネジメントや集団を活用した支援、コミュニティワーク等の理論と展開方法、専門職に必要な、スーパービジョンやコンサルテーションの専門知識と技術について学習する。</p> <p>なお、本講義は社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の「ソーシャルワークの理論と方法（共通）」に該当する科目である。</p>			
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人と環境との相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 2. ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 3. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4. コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 5. ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題1：ソーシャルワークの各過程において、ソーシャルワーカーが留意すべき点について述べよ。 レポート課題2：コミュニティワークの展開過程について説明せよ。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]』中央法規出版、2021年2月</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解) ・5つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践) ・5つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) <p>○評定の方法 レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>「ソーシャルワークの理論と方法 I」では主にソーシャルワークの価値と知識、技術についての学びを深めます。本講義で取り扱う価値、知識、また技術はソーシャルワーク実践の核をなす重要な要素となります。従って学生の皆さんは授業の復習や準備を欠かすことなく授業に臨んでください。授業では常に高い緊張度と集中力を維持する必要があります。</p>			
13. オフィスアワー	別途通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション :「ソーシャルワークの理論と方法 I」を学習するにあたっての説明と確認 「ソーシャルワークの基盤と専門職」の振り返り	事前学習	「ソーシャルワーク」について自分の言葉で説明できるよう、ノートにまとめておく。	
		事後学習	講義を踏まえて「ソーシャルワーク」について自分の言葉でノートにまとめる。	
第2回	人と環境の相互作用に関する理論 :システム理論、生態学理論、バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて理解する	事前学習	システム理論、生態学理論、バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについてテキストを用いて内容を調べる。	
		事後学習	学習内容をまとめ、各理論について説明できるようにする。	
第3回	ソーシャルワークの過程 (1) : ケースの発見とエンゲージメントについて理解する	事前学習	アウトリーチ、スクリーニングについてテキストを用いて内容を調べる。	
		事後学習	インテークの意義、目的、方法、留意点について説明できるようにする。	
第4回	ソーシャルワークの過程 (2)	事前学習	バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて	

	: アセスメントについて理解する①	事後学習	テキストを用いて内容を調べる。 アセスメントの意義、目的、方法、留意点について説明できるようにする。
第5回	ソーシャルワークの過程 (3) : アセスメントについて理解する②	事前学習	アセスメントの方法について確認する。
		事後学習	講義で行ったアセスメントを振り返り、自身の課題点を整理する。
第6回	ソーシャルワークの過程 (4) : プランニングについて理解する	事前学習	プランニングの意義、目的、方法、留意点についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	支援方針・内容の説明、同意の方法について説明できるようにする。
第7回	ソーシャルワークの過程 (5) : 支援の実施とモニタリングについて理解する	事前学習	効果測定の方法についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	モニタリングの意義、目的、方法、留意点について説明できるようにする。
第8回	ソーシャルワークの過程 (6) : 支援の終結と結果評価、アフターケアについて理解する	事前学習	アフターケアとりファーについてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	支援終結と事後評価の目的、方法、留意点について説明できるようにする。
第9回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ (1) : 治療モデル・生活モデル・ストレングスモデルについて理解する	事前学習	治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルについてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルについて説明できるようにする。
第10回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ (2) : 心理社会的アプローチ、機能的アプローチについて理解する	事前学習	心理社会的アプローチ、機能的アプローチについてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	心理社会的アプローチ、機能的アプローチについて、その主要概念を説明できるようにする。
第11回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ (3) : 問題解決アプローチ、課題中心アプローチについて理解する	事前学習	問題解決アプローチ、課題中心アプローチについてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	問題解決アプローチ、課題中心アプローチについて、その主要概念を説明できるようにする。
第12回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ (4) : 危機介入アプローチ、行動変容アプローチについて理解する	事前学習	危機介入アプローチ、行動変容アプローチについてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	危機介入アプローチ、行動変容アプローチについて、その主要概念を説明できるようにする。
第13回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ (5) : エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチについて理解する	事前学習	エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチについてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチについて、その主要概念を説明できるようにする。
第14回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ (6) 解決志向アプローチについて理解し、ソーシャルワークアプローチのまとめを行う	事前学習	解決志向アプローチについてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	これまで学習した各アプローチについてその内容をまとめる。
第15回	コミュニティワーク (1) : コミュニティワークの意義と目的について理解する	事前学習	コミュニティの定義についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	コミュニティワークの意義と目的について説明できるようにする。
第16回	コミュニティワーク (2) : コミュニティワークの展開過程について理解する①	事前学習	コミュニティワークの展開過程についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	地域アセスメントと地域課題の発見・認識、実施計画とモニタリングについて説明できるようにする。
第17回	コミュニティワーク (3) : コミュニティワークの展開過程について理解する②	事前学習	コミュニティワークの展開過程についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	地域の組織化、社会資源の活用・開発、計画の評価と更新について説明できるようにする。
第18回	コミュニティワーク (4) : 事例を用いてコミュニティワークの展開過程について理解を深める	事前学習	事例に目を通し、コミュニティ診断を行う。
		事後学習	事例検討の内容を整理し、コミュニティワークの展開過程についてまとめる。
第19回	グループを活用した支援 (1) : グループの意義と目的、グループワークの原則につ	事前学習	グループダイナミクスについてテキストを用いて内容を調べる。

	いて理解する	事後学習	グループの意義と目的、グループワークの原則について説明できるようにする。
第20回	グループを活用した支援(2) : グループワークの展開過程とセルフヘルプグループについて理解する	事前学習	グループワークの展開過程についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	セルフヘルプグループの意義と活用について説明できるようにする。
第21回	ソーシャルワークの面接(1) : 面接の意義と目的、構造について理解する	事前学習	面接の意義と目的、構造についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	面接の構造について説明できるようにする。
第22回	ソーシャルワークの面接(2) : トータルコミュニケーション、面接におけるコミュニケーション技法について理解する	事前学習	面接におけるコミュニケーション技法についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	自身のコミュニケーション技術を振り返り、求められるコミュニケーション技術の実施に向けた課題を明確化する。
第23回	ソーシャルワークの記録(1) : 記録の意義と目的について理解する	事前学習	記録の意義と目的についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	記録の意義と目的について説明できるようにする。
第24回	ソーシャルワークの記録(2) : 記録の方法と実際について理解する	事前学習	ソーシャルワーク記録の方法についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ソーシャルワーク記録の方法について説明できるようにする。
第25回	ケア(ケース)マネジメント(1) : ケアマネジメントの原則について理解する	事前学習	ケースマネジメントの原則についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ケースマネジメントの原則について説明できるようにする。
第26回	ケア(ケース)マネジメント(2) : ケアマネジメントの意義と方法について理解する	事前学習	ケースマネジメントの方法についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ケースマネジメントの方法について説明できるようにする。
第27回	ソーシャルアドミニストレーション : ソーシャルアドミニストレーションの意義と方法について理解する	事前学習	ソーシャルアドミニストレーションの意義と方法についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ソーシャルアドミニストレーションの方法について説明できるようにする。
第28回	ソーシャルアクション : ソーシャルアクションの意義と方法、留意点について理解する	事前学習	ソーシャルアクションの意義と方法、留意点についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ソーシャルアクションの方法について説明できるようにする。
第29回	スーパービジョンとコンサルテーション : スーパービジョン、コンサルテーションの意義、目的、方法について理解する	事前学習	スーパービジョンとコンサルテーションの違いについてテキストを用いて調べる。
		事後学習	スーパービジョンの方法について説明できるようにする。
第30回	講義のまとめ	事前学習	これまでの学習内容を振り返り、不明な点等を明らかにする。
		事後学習	まとめの内容を整理し、試験に向けて不足事項を学習する。
期末試験			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワークの展開過程に関する理解を問う。 ・ 講義内で扱った専門用語に関する理解を問う。 			